



奉祝平成29年明治天皇御親祭150年祭
未来につなげるまつりの心

氷川神社
社報 第二号

武蔵一宮



世界盆栽大会開催にあたり秋篠宮同妃両殿下御来社



四年に一度の第八回世界盆栽大会が四月二十七日～三十日の四日間にわたり開催されました。二十八年ぶりに日本での開催となった今回は、メイン会場をさいたまスーパーアリーナ、サブ会場を当社、さいたま市大宮盆栽美術館、大宮盆栽村として賑いました。各会場の出はさいたまスーパーアリーナの「日本の盆栽水石至宝展(二十八日～三十日)」が約四万五千名、当社が約一万七千名、大宮盆栽美術館が約一万二千名、盆栽村は盆栽美術館付近



では約一万八千名、芙蓉園付近では約七千名となっております。

秋篠宮同妃両殿下におかれましては、二十七日に主要会場のさいたまスーパーアリーナを御視察された後、御来社され楼門内廻廊や舞殿に展示された約三十の盆栽を御覧になり、盆栽村の清香園代表の山田登美男氏による盆栽の解説に耳を傾けられました。

未来につなげるまつりの心

明治天皇は慶応四年（一八六八）八月に第百二十二代天皇として御即位後、十月十三日に江戸城に御入城、新たに東京が都となりました。さらに同月十七日には氷川神社を武蔵の国の鎮守勅祭の社と定めた勅書を発せられました。この勅書は中世以降の政道の衰えを敬神崇祖の精神に基づいた道に復する事を明らかにされている為「祭政一致の詔」とも申します。これはおよそ千年前に桓武天皇が都を平安京にお遷しになられた際に山城の国の鎮守であった加茂社を篤く信仰された御例に因られたものです。迫りくる危機的な国際情勢の中、明治天皇は新時代を切り開くにあたりその御決意を氷川神社の御神前で御親祭を執り行う形でお示しにされました。御入城後わずか十五日後の十月二十八日の事です。明治天皇の私心の無い大御心は受け継がれ、先の大震災の折には今上陛下のお姿に国民等しく感動致しました。明治天皇の御事績を語り継ぐ事は国家の安寧と国民の幸せを祈り、一人一人が我が国を良くしていく決意を再確認する事に他ありません。

奉祝祭

**御親祭百五十年大祭
奉告祭**

十月二十一日（土） 午前十時

**御親祭百五十年大祭
氏子崇敬者祭**

十月二十七日（金） 午前十時

**御親祭百五十年大祭
本祭**

十月二十八日（土） 午前十時

**御親祭百五十年大祭
後祭**

十月二十九日（日） 午前九時



御親祭百五十年奉祝行事

神事芸能

- 九月 十日 九時 吟道奉賛会
- 九月 十七日 十七時 鈴木鼓友会
- 九月 十八時 豊前神楽
- 十月 四日 十七時半 氷川雅楽会観月演奏会
- 十月 十四日 十八時 石見神楽
- 十月 十五日 十四時 奥氷川神社獅子舞
- 十月 二十九日 十三時半 おむらい流
- 大成三丁目囃子連神楽

武道

- 九月 二十四日 十時 無双直伝英信流
- 居合兵法阿字会奉納演武
- 無外真伝無外流居合道
- 日心会奉納演武
- 大宮武林会居合道杖道
- 奉納演武
- 九月 三十日 十時 柳生心眼流兵法柳生館
- 居合奉納演武
- 大相撲手数入の儀
- 埼玉県太極拳協会奉納演武
- 十月 一日 十一時
- 十月 七日 十三時 埼玉県太極拳協会奉納演武

文化

- 九月 二十三日 十一時 表千家献茶式
- 九月 三十日 九時 埼玉県茶道協会秋の茶会
- 九月 二十五日〜十一月末まで 八重垣会提灯奉納
- 十月 十一日 十時 裏千家献茶式
- 十月 二十一日 十三時半 大宮華道連盟献華式
- (二十三日まで廻廊展示)
- 十一月 一日〜十五日 武蔵菊花会菊花展

※時間は前後する場合がございます

〈個人〉 一百万円以上	〈個人〉 三万円以上	〈個人〉 五万円以上	〈会社・団体〉 十万円以上	〈会社・団体〉 五十万円以上	〈会社・団体〉 百万円以上	奉賛金額 奉賛者石碑文字入れ	奉賛金額	奉祝祭	感謝状・記念品	その他
石碑に奉賛金額・名前入れはありません。	②個人名一名	①奉賛金額 ②個人名一名	②個人名一名 会社・団体で奉賛の場合： 会社名一社・団体名一団体 個人で奉賛の場合：個人名一名	②個人名一名 会社・団体で奉賛の場合： 会社名一社・団体名一団体と代表者一名 個人で奉賛の場合：個人名一名	①奉賛金額 ②個人名一名 会社・団体で奉賛の場合： 会社名一社・団体名一団体と代表者一名	奉祝祭 ご案内は 代表者一名様 のみ	感謝状 奉祝祭特別記念品 感謝状 奉祝祭特別記念品	感謝状 奉祝祭特別記念品	感謝状・記念品	刻銘場所等については御一任下さい。 領収書は紛失しない様、保管下さい。

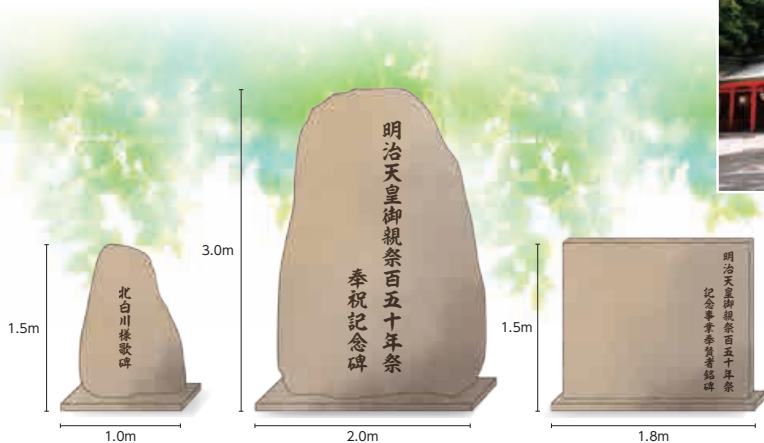
- ＝ 記念碑名称 明治天皇御親祭百五十年祭奉祝記念碑
- ＝ 及び記念事業奉賛者銘碑
- ＝ 水川神社境内
- ＝ 楼門(神門)内の廻廊等
- ＝ 平成三十年二月以降
- ＝ 募金目標 五千万円以上
- ＝ 施行期日
- ＝ 募金目録
- ＝ 会社・団体 一口金十万円(何口でも可、御奉賛金には、記念碑建立、記念事業の区別はありません)
- ＝ 御奉賛金額 一口金一万円(何口でも可、御奉賛金には、記念碑建立、記念事業の区別はありません)
- ＝ 個人御奉賛金額
- ＝ 募金期間 平成二十九年二月一日より平成二十九年十二月末日
- ＝ 申込方法 申込書に御奉賛金を添えて水川神社社務所、又は神札所までお申し込み下さい
- ＝ 御奉賛待遇 (銀行振込みを希望の場合は、その旨申し出下さい)

奉祝 記念碑建立 記念事業 施行概要

明治天皇御親祭百五十年大祭



楼門内廻廊



記念碑完成予想図

記念碑建立事業奉賛者御芳名 平成二十九年三月〜平成二十九年五月

※申込順、敬称略、お名前等の誤りがございましたらご容赦願います。

奉賛金の受付を開始して以降、多くの御篤志を頂戴致しております。ここに皆様の御芳名を御紹介し感謝を申し上げます。

法人

三百万円

武蔵コーポレーション株式会社

大谷 義武

百万円

清水建設株式会社 関東支店

常務執行役員支店長 山中 庸彦

五十万円

有限会社野口薬局

代表取締役 野口 和宏

不二サッシ株式会社

代表取締役社長 吉田 勉

株式会社みどり建設 加藤 芳夫

医療法人 大宮林医院 林 正敏

二十万円

寿能町一丁目氏子会

土呂 神明社

十万円

株式会社コヤマ

宮前氷川神社

大宮交通株式会社

三矢交通株式会社

個人

百万円

澤田 公孝

森川 敬夫

森川しな子

株式会社中村写真館

正一位倉屋敷稲荷神社

有限会社久世造花工藝

オリエンタル火工株式会社

株式会社和泉空調設備

深作氷川神社世話人一同

柳生心眼流兵法柳正館

有限会社宮善商店

秋山 惇

大野 義禮

磯端 保彦

磯端 里美

齋藤 勝彦

橋本登志枝

岩井 淳郎

小峯 政昭

星野 幸正

星野 昇保

須藤 和英

尾熊徳太郎

田口 征雄

川元麻実子

中神 厚子

十万円

高木 真人

星野 正昭

澤田 勝治

細谷 泰

細谷美喜子

細谷 基秀

細谷 篤

黒須 正平

小澤 一三

清水 賢一

西角井錦子

井山 桂子

篠田 友里

新井 一年

神原 大蔵

永井 保彦

佐藤祐貴資

太田 謙治

水越 利夫

水越登志子

星川 双葉

天野 好章

山口 忠

岡田 建

大谷 富夫

武田 淳

五万円

阿泉 秀典

鈴木 潔

塚原 信五

田口 喜也

関根 規雄

加藤 勝俊

入江 安博

瀬川 勝

小杉 靖児

松岡 勇介

関 弘典

築地 寛

渋谷 蔵

渋谷久美子

折原 栄一

阿部 順之

高木 圭美

宮井 章

宮井美美子

宮井利香子

飯田 正

嶋田 浩典

嶋田亜也子

松澤 正明

井本 征勝

細田 博之

細田 美幸

工藤 道弘

五万円

工藤 明子

工藤 航平

飯塚 博幸

宮原多喜男

宮崎 和江

中原 頼幸

窪田 智光

基 知樹

小山 正久

岩井 住男

赤澤 宏

赤澤千恵子

根岸 一

大野 三秋

高山 賢三

松崎 新也

小林 誉

小島 正己

川嶋 雅夫

波田野晴一

吉田 隆

薄田 治雄

前田 光男

中里 康郎

田島 一男

一万円

久世 晴雅

栗田 民夫

北崎 建生

長山 明子

江川 勇

大野 敏子

仙頭 和明

浅野 拓

藤田 雅也

飯山 義雄

庄司 昭典

辻 弘江

新井 守

中野 啓子

馬田 茂喜

島田 正秀

吉久 佳子

天野 加奈

石井 邦明

寺門久仁子

粕谷 修治

田島 薫

斎藤 孝次

酒井 崇徳

木下 永子

石井 雅子

社頭往来

鎮花祭

四月五日～七日の三日間にわたり鎮花祭が行われました。祭典中には五才～九才の女の子六名により花しづめの舞が奉奏されました。祭典後には日により、乙女舞(豊栄の舞)や浦安の舞の奉奏があり、三日間で二十七名に御奉仕頂きました。



祝子祭

五月五日祝子祭が執り行われました。子供達の成長を祝い、益々の成長と健康を祈願し、特殊神饌として筍がお供えされました。



五月十日～十二日の三日間にわたり世話人旅行を実施致しました。本年は神奈川県相模原市鎮座の亀ヶ池八幡宮を正式参拝致しました。三班合わせて約百六十名の御参加を頂きました。

世話人旅行



さいたま市職場体験



五月十日～十二日までさいたま市中学生職場体験事業「未来くるワーク体験」で桜木中学校の生徒四名を受け入れました。境内清掃や御札の授与の他、最終日には舞殿にて豊栄の舞を奉奏頂きました。

道饗祭

疫病が流行するのを未然に防ぎ止めるよう祈願する道饗祭が五月二十一日に斎行されました。本殿祭の後、三の鳥居隣の神楽殿にて斎場祭が行われました。



新能

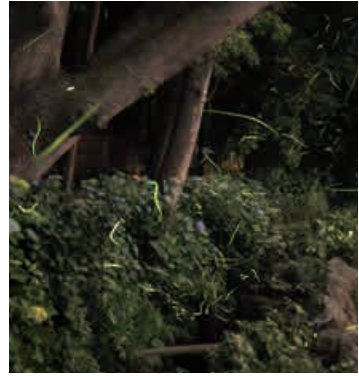
公益社団法人さいたま観光国際協会主催の第三十六回大宮新能が五月二十六日、二十七日の二日間、三の鳥居と神橋間の特設舞台上で演能されました。



第3回氷川ほたる観賞会

氷川ほたるの杜主催の蛍観賞会が六月三日、四日の二日間にわたり蛇の池周辺で開催されました。第三回目となる今回は合計千二百匹の蛍を放生し昨年を上回る六千人の方にご観賞頂きました。両日とも参道では大宮の飲食店が出店する氷川マルシェが開催され、四日には大宮アルデージャのホームゲーム

があった事もあり、二日間で五万人の人出で賑いました。



粽神事

特殊神饌で粽をお供えする粽神事が六月五日に斎行されました。古くは端午の節句に行われておりましたが、明治の改暦以降は真菰の成長の関係もあり、現行の六月五日となりました。



氏青・婦人会合同勉強会

六月十七日呉竹荘にて氏子青年会、敬神婦人会の会員を対象に合同勉強会を開催致しました。講師に作家で国史研究家の小名木善行先生をお招きし「天照大神と須佐之男命」をテーマに講演を頂きました。両団体合わせて約八十名の受講者は熱心に聞き入っておられました。



祭祀舞研修会

六月二十七日、二十八日の二日間、新採用の出仕補を中心に祭祀舞研修会を開催致しました。講師に静岡市鎮座翁稻荷神社宮司の牧田明子先生をお招きし、豊栄の舞の研修を行いました。豊栄の舞は諸団体の正式参拝、秋の観月雅楽演奏会等で奉

奏致します。



大祓式

半年間の罪穢れを祓う大祓式が六月三十日午後二時より雨儀にて斎行されました。六月の大祓式は夏越の大祓ともいわれ、茅の輪をくぐって災厄を祓う事から輪くぐりの神事ともいわれます。本年の茅の輪は六月二十四日より七月二日まで設置されました。



奉祝・宮繕事業

大宮剣道連盟剣道形奉納

桜が満開に近付いた四月二日、大宮剣道連盟の中村好一副会長他五名の方々により剣道形の奉納がございました。「ヤー」「トー」の掛け声と共に行われる演武に境内の約百名の参拝者も見入っておられました。



桜祭弓道大会

例年行われております弓道大会が御親祭百五十年の冠を付け

四月五日に開催されました。記念大会となった本年は例年以上の参加者で約八百名にのぼりました。三の鳥居内は高校生、西駐車場は大学生、社会人と二カ所に分かれ盛況裡に閉幕致しました。



埼玉県茶道協会茶会

埼玉県茶道協会による春の茶会が四月二十二日勅使館及び呉竹荘にて開催されました。

当日は約四百名の参加者で賑い、茶の湯を楽しまれておりました。

埼玉神社庁 新庁舎竣工奉告祭

五月十二日埼玉神社庁新庁舎竣工にあたり奉告祭が押田豊副庁長、県内の祭式講師、雅楽講師あわせ十四名で斎行されました。中山高嶺庁長はじめ約百二十名の参列者があり、厳粛に執り行われました。



小笠原流弓道

弓馬術礼法小笠原流埼玉菱友会による小笠原弓道が五月二十八日奉納されました。宗家小笠原清忠氏、東角井権宮司見分のもと、墓目の儀の後、百手式が執り行われました。

百手式は会員約五十名により行われましたが、全員皆中の結果となりました。



明倫無外流形山会居合術奉納演武

六月十一日明倫無外流形山会による居合術の奉納演武がございました。内藤寛会長他九名、正式参拝の後、舞殿にて居合形演武や組居合演武の奉納を頂きました。



書元会書道廻廊展示

例年、大祓式に合わせ展示される書元会による書道の廻廊展示が本年も行われました。

幼稚園から中学三年生までの会員の作品で御親祭百五十年を主題とした今回は「いけ」と

りい」、「おまつり」、「大はらい」、「祭りの心」、「氷川の森」、「日本神話」、「奉祝行事」が題となりました。



西廻廊竣工

平成二十八年八月二十五日より着工、九月十六日に地鎮祭を齎行した西廻廊が竣工し、竣工祭が四月十九日工事に携わった(株)みどり建設様、(株)日本建築工芸設計事務所様、松井建設(株)様の各御代表様御参列のもと厳粛に齎行されました。

鳥居奉納奉告祭

(株)エバンス様より境内社の稲荷神社に鳥居の御奉納を頂き、奉告祭が四月二十七日齎行されました。エバンス様からの御奉納は今回で三基目となっております。



参道植樹

参道の土壌改良と参拝の折に四季折々の花が楽しめるようにと中低木の植樹を行っております。現在は三の鳥居から二の鳥居の中間ほどですが、徐々に範囲を広げていく予定ですので皆様の御理解を宜しくお願い致します。



祭典予定

例祭前日祭

七月三十一日

例 祭

八月 一日

神幸祭

八月 二日

献詠祭

八月 十五日

月次祭

九月 一日

献詠祭

九月 十五日

敬老祭

九月 十五日

秋季皇霊祭遥拜式

九月二十三日

秋分祭

九月二十三日

月次祭

十月 一日

抜穂神事

十月 九日

献詠祭

十月 十五日

例 祭

来る八月一日、畏き辺りより勅使御参向のもと、午前十時より例祭が斎行され、楽師により東游の御奉奏がございます。古来旧暦六月十四日に行っておりましたが、明治の御代に新暦八月一日に制定されました。当日は勅使奉迎の為、各町内の山車神輿約四十基が三の鳥居内に参道を挟むように揃い大変賑います。

神幸祭

八月二日午後三時より神幸祭が斎行されます。古くは旧暦六月十五日、例祭の翌日に行われておりましたが、例祭日の変更に伴い現在の八月二日となりました。本殿にて御神霊を神輿にお遷しした後、神橋上で橋上祭を執り行います。神輿の担ぎ手は旧神領地の六町内の氏子、また氏子青年会の皆様に御奉仕を頂いております。



正式参拝及び諸会議
(敬称略)

四月

- 一日 宮原中学校昭和四十三年卒業同窓会
- 二日 大宮剣道連盟(奉祝行事)
- 三日 深谷組入社奉告正式
- 十三日 北足立郡市氏子総代会(埼玉県)
- 十六日 京所青年会(東京都)
- 十八日 高尾氷川神社総代会(東京都)
- 二十六日 氷川神社敬神婦人会
- 二十九日 氷川マルシェ実行委員会
- 二十九日 誠道館空手奉納演武
- 二十九日 戦艦武蔵の会(正式・植樹)

五月

- 八日 阿含宗本部
- 二十日 解脱会大宮土呂支部、
さいたま中浦和準支部
- 二十一日 P H P
- 二十二日 監査会
- 二十六日 大宮新能演者・関係者
- 二十七日 大宮新能演者・関係者
- 二十八日 小笠原弓道(奉祝行事)
- 二十九日 責任役員会、敬神講社理事會、
氏子総代会並評議員会

六月

- 三日 氷川はたるの杜
- 四日 上山川神社総代会連合会(茨城県)
- 五日 東京女子大学同窓会埼玉支部
- 七日 さいたま市支部会
- 七日 明治神宮崇敬会深谷・加須支部
- 九日 明治神宮崇敬会越谷支部
- 十一日 無外流形山会(奉祝行事)
- 十一日 八幡神社(埼玉県)
- 十二日 子安神社総代会(東京都)
- 十四日 埼玉県神社庁入間東支部
- 十五日 院友神職会役員会
- 十七日 氷川神社氏子青年会
- 十七日 氷川神社敬神婦人会
- 十八日 見沼たんぼくらぶ
- 二十一日 明治神宮崇敬会北葛・野田支部
- 二十四日 院友神職会埼玉支部総会
- 二十六日 明治神宮崇敬会大里支部(正式総会)
- 二十七日 例祭総代会
- 二十八日 氷川神社祭祀舞研修会
- 二十八日 明治神宮崇敬会
- 二十九日 飯能・所沢・入間・熊谷支部
書元会(奉祝行事)
- 二十九日 埼玉県神社氏子総代会連合会
入間西支部

奉納献華

四月の奉納献華



古流松藤会
岩波 理豊
川嶋 理智
池坊
草谷 智花
草月流
沖山 草俊
竹下 尚峰
桂古流
小林 華侑
高橋 典花
正風流二光会
桐生 一光

五月の奉納献華



古流松藤会
岩波 理豊
川嶋 理智
池坊
草谷 智花
草月流
沖山 草俊
竹下 尚峰
桂古流
小林 華侑
高橋 典花
正風流二光会
桐生 一光
春草流
栗原 春彩

六月の奉納献華



古流松藤会
岩波 理豊
川嶋 理智
池坊
草谷 智花
草月流
竹下 尚峰
桂古流
小林 華侑
高橋 典花
正風流二光会
桐生 一光
春草流
栗原 春彩



九月一日より七五三祈祷をお受けの方には
千歳飴などの記念品を授与しております。
事前準備分が終了次第、通常の御祈祷の授
与品となります。奉祝大祭及び行事の開催日
も御祈祷は行いますが、駐車場の不足や周辺
道路の混雑が予想されますので御注意下さい。

七五三祈祷の御案内

婚礼展示会のお知らせ

下記の日程で婚礼展示会を開催致します。是非、おそろいでお出かけください。

心よりお待ち申し上げております。

記

- 一、日時 平成29年8月27日(日)
13時～16時
- 一、会場 氷川神社 呉竹荘
- 一、予約 不要
- 一、会費 無料

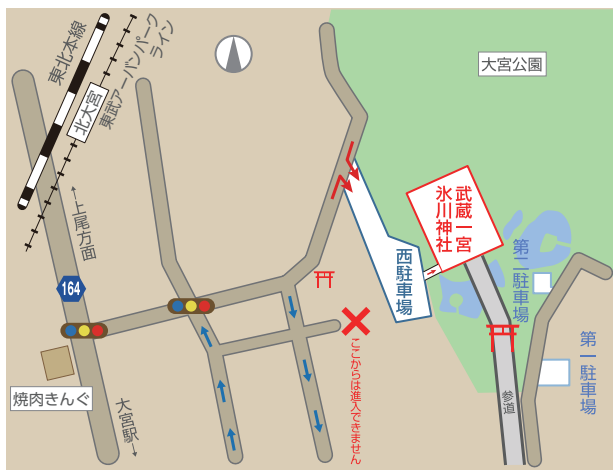
七五三詣の御祈祷の際には
以下の物をお渡しいたします。



敬神婦人会

当社の敬神婦人会は昭和37年に結成し本年55年目を迎えます。参拝者の湯茶接待や研修旅行、また国旗小旗作りなどにより国を愛する心を涵養しよりよい社会づくりの為の活動しております。お問い合わせは事務局まで御連絡をお願い致します。

電話 048-641-0137
(氷川神社代表番号)



氏子青年会

当社の氏子青年会は昭和41年に結成し本年51年目を迎えます。祭典行事に御奉仕、清掃奉仕などの活動を行っております。お問い合わせは事務局まで御連絡をお願い致します。

電話 048-641-0137
(氷川神社代表番号)

発行 平成29年 7月15日

写真協力 宮野信昭 中村写真館

さいたま市大宮区高鼻町 1-407 電話 048-641-0137 <http://www.musashiichinomiya-hikawa.or.jp/>

発行所 氷川神社社務所

印刷所 株式会社 秀飯舎